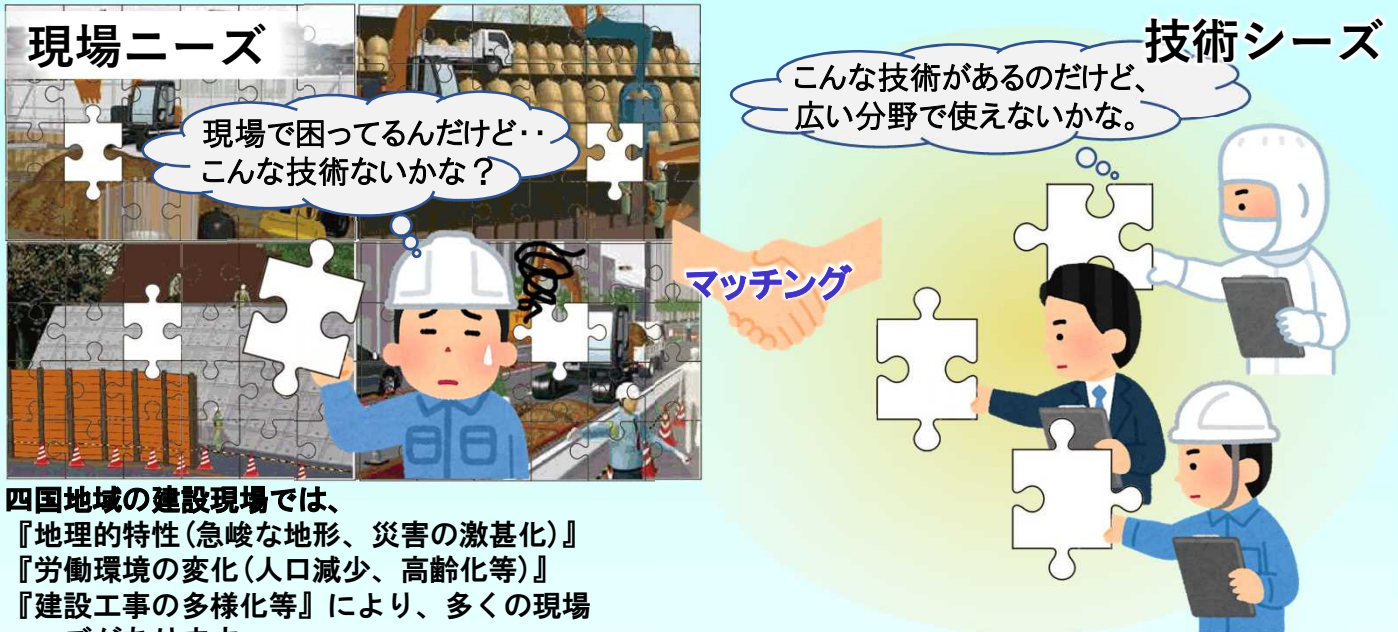


現場ニーズにマッチする『新たな技術』を募集

国土交通省四国地方整備局では、「新たな技術(新技術)の発掘」や「企業間連携」を促進し、新技術の開発促進・普及拡大を図ることを目的に、**現場ニーズ**(工事現場などでの問題・課題)と**技術シーズ**(企業等が持つ独自の技術力やアイデア)をマッチングさせる取り組みを行っております。

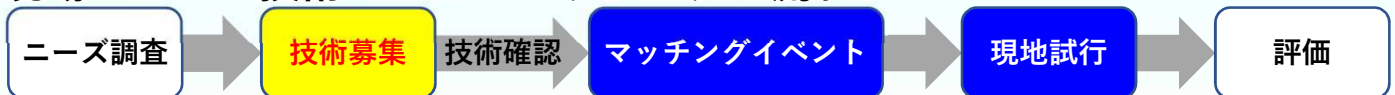


四国地域の建設現場では、
『地理的特性(急峻な地形、災害の激甚化)』
『労働環境の変化(人口減少、高齢化等)』
『建設工事の多様化等』により、多くの現場ニーズがあります。

現場ニーズは、裏面をご覧ください。

様々な分野の産学官の連携、IoT・人工知能(AI)などの革新的な技術の現場導入や3次元データの活用などにより、生産性が高く魅力的な新しい建設現場の創出を促進します。

現場ニーズ・技術シーズのマッチングの流れ



募集要領

詳しくは、<http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/iconstruction/index.html> から募集要領資料をダウンロードしてご確認ください。

■応募期間： 令和5年7月18日(火)～ 令和6年2月29日(木)

第1回締切日 令和5年 8月21日(月)

第2回締切日 令和5年 10月20日(金)

第3回締切日 令和6年 2月29日(木)

■応募技術の条件等

- ・応募技術は、新技術情報提供システム(以下「NETIS」という。)に登録されていない技術であること。なお、以前登録されていた技術も対象外とします。
- ・ただし、NETISに登録されている技術であっても、NETISに登録されている技術を新たに改良することにより、マッチングする可能性があるものについては、対象技術とします。(※詳細は、募集要領をご参照ください。)

■応募資格等

- 応募資格者は、以下の条件を満足するもの。
- ・応募者自らが応募技術の開発を実施した「個人」又は「民間企業」。
 - ・応募技術を基にした業務を実施する上で必要な権利及び能力を有する「個人」又は「民間企業」。
 - ・応募資料の作成及び提出に要する費用、現地試行を実施する費用、並びに、現地試行以外にニーズを解決するための試験・調査等に係る費用を負担できるもの。(応募等に要する費用は、応募者の負担です。)

■応募方法：募集要領資料を上記URLよりダウンロード、必要事項を記載のうえ、下記にMailで送付

※10MBを超える場合は、電子媒体(CD-R等)または紙を郵送により提出。

Mail提出先・郵送先 下記のお問い合わせ先と同一

■現場ニーズの一覧表

下記のニーズにマッチする新たな技術を募集しています。

No.	大分類	小分類	現場ニーズの名称
1	省人化技術	交通誘導	交通誘導警備員の代替となりうる交通誘導技術
2	災害調査省力化技術	災害調査	TEC-FORCE派遣時の被害調査 (法面崩落、構造物破損等の現地実測調査)を効率化する技術
3		災害監視 (地すべり・法面崩落・堤防破堤)	被災(発災の予兆)箇所の常時目視監視を代替する技術 (地すべり、法面崩落、堤防破堤等)
4		災害監視 (洪水・雪寒)	空間監視カメラを用いた画像解析による状態監視技術 (浸水状況・路面積雪状況等)
5		災害監視 (河川)	LPWA(低消費電力)を用いた簡易水位計
6		災害監視 (道路)	LPWA(低消費電力)型無線ネットワークを用いた 斜面災害監視技術
7	熟練技能代替技術	AI	AIを用いたボーリングコアの地質画像判定技術
8		AI	AIを用いたトンネル切羽の岩判定技術
9		調査技術の高度化	ボーリングを用いないトンネル地質の高精度探査技術
10	巡視高度化技術	堤防巡視	堤防の変状を安価に測定する巡視高度化技術
11	DX技術	インフラDX	河川・道路・防災関係のインフラDX技術
12	BIM/CIM技術	CIM	河川・道路関係のCIM技術

※ニーズの詳しい情報は、
募集要領資料 (<http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/iconstruction/index.html> からダウンロード) をご確認ください。